

0080 | 社会学

2 単位（通信授業 2 単位）

小幡正敏教授

授業の概要と目標

現代社会のあり方と諸問題を、家族・労働・テクノロジー・グローバル化などの具体的な諸テーマにそくして考えてみる。また、近代社会の成立とともに社会学という学問が登場してきた理由や背景についても学ぶ。教科書に書いてあることを機械的に読んでレポートを書くのではなく、自分で調べること、自分で考えることが大切である。そのためには、新聞、雑誌、インターネットなどで情報収集すること、書店や図書館や資料館に出向くこと、現場を歩いてみるなどが不可欠となる。好奇心の旺盛な人向き。

課題の概要

○通信授業課題 1

教科書のいずれかの部から任意の1つの章を選び、そのテーマについて理解したことを具体例などをあげながら説明する。

○通信授業課題 2

課題1で選んだテーマについて「コミュニケーション」という視点から考察を加える。

* 課題については学習指導書『造形文化科目・教職に関する科目 平成29年度』を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書のいずれかの部から任意の1つの章を選んで学習する

第1部：近代と社会学

- 1 近代と新しい社会認識：近代社会の成立とマルクス
- 2 近代との格闘：デュルケームとウェーバー
- 3 近代の暗黒：戦争とトラウマ

第2部：社会の舞台

- 1 近代家族の変容：親密性と私秘性の高まり
- 2 連帯の変容と社会保障：福祉国家の解体と保険による生-政治
- 3 労働と職場：フォーディズムからポストフォーディズムへ

第3部：社会学と現代

- 1 テクノロジーと社会：鉄道・自動車・原発・メディア…
- 2 新しい行為主体：子ども、老人、女性、障害者、クイア…
- 3 グローバル化と現代社会：地域社会と生活空間の変容

補論

Doing Sociology：社会学をすること

成績評価の方法

◎科目試験

教科書の内容および授業課題に準じた問題（記述式）を出す。

教科書を通読しておくことが望ましい。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4年次

[履修条件] なし

[備考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：橋本梁司・小幡正敏著『社会学のまなざし』（武蔵野美術大学出版社 2004年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 平成29年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）

その他

参照すべき事典類として『社会学事典』（弘文堂）、『福祉社会事典』（弘文堂）などを挙げておく。